

# I 推 進 施 策

## 1 主体的で創意に満ちた 教育活動の推進

### (1) ふるさと教育・キャリア教育の充実

- ① ふるさとの理解や人々との関わり合いを通して、ふるさとへの愛着を深め、ふるさとの将来を支えていこうとする強い気概をもった児童生徒を育てる。
- ② 校種間の連携・接続や地域との連携・協働を推進し、多様で魅力ある体験活動等を通して、ふるさと教育を基盤としたキャリア教育を充実させる。
- ③ グローバル社会を生き抜くための基盤となるよう、ふるさとや異文化への理解を深め、主体的・協働的に問題を解決したり、新たな価値を創造したりする資質・能力を育てる。

### (2) 特色ある学校を創造する

#### カリキュラム・マネジメントの充実

- ① 地域の実態や自校の特長と課題を踏まえた学校教育目標を設定する。
- ② 学校教育目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てる。
- ③ 児童生徒や地域の実態に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立する。
- ④ 教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくことなどを通して、教育活動の質の向上を図る。
- ⑤ 学校評価等の情報を積極的に公開し、家庭や地域との連携の下、学校経営の改善・充実に図る。

### (3) 住みよい学校の実現

- ① 規律ある集団の中で、受容的な態度や共感的な人間関係を大切にし、信頼し合える関係を築く。
- ② 一人一人が自己の存在感を実感しながら落ち着いて学習に取り組むことができる環境を整える。
- ③ 家庭や地域社会、関係機関等と連携・協働して学校安全の充実に図り、安全で安心な学校づくりに取り組む。

## 2 心豊かで、たくましい 児童生徒を育む指導

### (1) 生き方を探求し自立できる児童生徒の育成

- ① 自校の児童生徒の実態から身に付けさせた力を焦点化し、特別活動を要としながら、学校の教育活動全体を通じてキャリア教育の充実を図り、社会的・職業的自立に必要な基盤となる能力や態度を育てる。
- ② 様々な教育活動において、問題を発見し、他者との関わりを通して、主体的に問題を解決していくプロセスを重視することにより、“「問い」を発する子ども”の育成を図る。
- ③ 自主的、実践的な集団活動を通して、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己実現を図ろうとする態度を養う。

### (2) 一人一人の自己実現を支える生徒指導

- ① 日常の共感的なふれあいや観察、計画的な教育相談等により、一人一人について多面的・総合的に理解を深め、児童生徒との信頼関係を築く。
- ② 自校の共通実践事項に基づいた一貫性のある指導や、集団の中での自己有用感を高める指導等により、規範意識の醸成や社会性の育成を図る。
- ③ 校内の組織的かつ迅速な対応と、家庭、地域、関係機関等との連携・協働により、生徒指導体制の充実に図り、児童生徒の健全な成長を促進する。

### (3) 豊かな心と健やかな体の育成

- ① 様々な人や社会、自然等と直接ふれあう体験活動を充実させ、自ら考え行動し、粘り強く取り組む態度を育てる。
- ② 自校の重点内容項目を明確にした道徳教育の全体計画及びその別業等を整備・活用し、教育活動全体を通じて組織的に道徳教育を推進することにより、児童生徒の道徳性を養う。
- ③ 家庭や地域と連携し、体力向上や健康的な生活習慣の定着を図るとともに、様々な危険を自ら予測・回避する能力や態度を育てる。